



## 西洋古典資料保存ネットワークについて

堀越, 香織

---

**(Citation)**

西洋古典資料保存講習会

**(Issue Date)**

2023-12-01

**(Resource Type)**

conference object

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100485846>



# 西洋古典資料保存ネットワークについて

一橋大学社会科学古典資料センター  
一橋大学学術・研究推進部学術情報課貴重資料担当  
堀越 香織

2023/12/1 (金)  
国立大学協会近畿地区協会・兵庫県大学図書館協議会  
西洋古典資料保存講習会

# 一橋大学社会科学古典資料センターの概要

- ・ 1978(S52)年に図書館から分離した洋書貴重書専門図書館
- ・ 一橋大学が商法講習所(1875(M5)年創立)以来収集してきた社会科学の西洋古典を集中管理
- ・ 研究組織を備える
- ・ 1995(H7)年に貴重書保存修復工房を開設
- ・ 蔵書数76,333点(図書・紙資料75,507点、マイクロ826点)  
(2022年度末現在)
- ・ センター長(兼任)1名、教授(兼任)1名、助教1名、  
図書系職員(兼任)2名、保存修復スタッフ(兼任)1名

# 一橋大学社会科学古典資料センターの概要

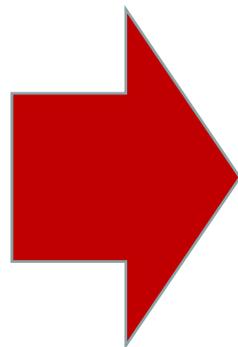
- ・ 西洋社会科学古典資料講習会(40回)と、西洋古典資料保存講習会(19回)を開催し、西洋古典資料に関する知識や保存に関する知識・技術の伝搬に努める
- ・ 2016～18(H28～30)年度に「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」を実施
- ・ 2018(H30)年度～西洋古典資料地域保存講習会を各地区と共催

# 「西洋古典資料の保存に関する拠点 およびネットワーク形成事業」とは

文部科学省共通政策課題(文化的・学術的な資料  
等の保存等) H28-30年度採択

- 明治以降わが国の発展に寄与した学術文化遺産である  
西洋古典資料の現状

- ・ 深刻な劣化
- ・ 専門人材の枯渇
- ・ 保存技術継承の危機



- ・ 保存状況調査
- ・ 中核的人材育成
- ・ ネットワーク形成

## 事業の主な内容と成果

### 1. 中核的人材の育成

- 実務研修

### 2. ネットワーク形成

- 実務研修修了者に西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員を委嘱
- 西洋古典資料地域保存講習会

### 3. 保存状況調査

- 西洋貴重書保存インデックス

# 1. 中核的専門人材の育成 – 実務研修



派遣元：各図書館

訪問調査  
事前ヒアリング



カリキュラム  
作成



受入先：  
一橋大学社会科学  
古典資料センター

## 成果の還元

- ①環境調査、劣化調査の実施  
および環境改善
- ②保存知識による蔵書管理の  
マネジメント
- ③自館または地域での研修会  
による専門知識の伝搬と継承



## 保存修復工房にて 実務研修（1～3か月）

- ①専門知識の習得
- ②保存修復実務の実習
- ③各館の状況に応じたアドバイス
- ④都内近辺の図書館等を訪問  
調査



## 2. ネットワーク形成

－西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」

- 実務研修修了者に協力員を委嘱  
(北海道大学、東北大学、慶應義塾大学、  
国立国会図書館、神戸大学、九州大学)
- ふだんはMLでゆるーく情報交換・情報共有

## 2. ネットワーク形成 －西洋古典資料地域保存講習会

- 東北地区西洋古典資料保存講習会  
(2018年11月16日)
- 九州地区西洋古典資料保存講習会・実習  
(2019年12月12・13日)
- 北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー  
(2022年12月15日)

**2023年はただいま開催中！**

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

## 西洋貴重書保存インデックス(2019/4/15公開)

50の質問に答えて、あなたの図書館（図書室）における西洋貴重書の保存環境を自己評価してみてください。答えは「できている」（2点）、「ややできている」（1点）、「できていない」（0点）からひとつを選んでください。所用時間は10～15分です。

質問は「組織」「閲覧」「セキュリティ」「環境」「複製」の5つのジャンルにわかれています。各ジャンルの最高20点、総合で最高100点をめざしましょう。

これらの質問は、図書館（図書室）における西洋貴重書の保存環境を見直すための指針・指標（インデックス）としてご利用ください。

※50の質問は以下URLでも読むことができます。

<http://chssl.lib.hit-u.ac.jp/education/index.html>（一橋大学社会科学古典資料センターのウェブサイトへ移動します。）

※回答結果の閲覧方法

「送信」ボタンを押すと表示される送信完了ページ（もしくは自動返信メール）に記載されているURLをクリックすると、回答結果を表示するためのログインフォームが開きます。自動返信メールに記載されている「受付番号」と「メールアドレス」を入力すると、「レーダーチャート」「総合点」「各ジャンル別点」が表示されます。また、回答結果を印刷することもできます。

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

- 西洋古典資料・貴重書の保存管理に関する自己点検・自己評価のための指標

社会科学古典資料センターウェブサイトで公開

トップページ > 保存修復 > 西洋貴重書保存インデックス

<https://chssl.lib.hit-u.ac.jp/preservation/benchmark/>

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

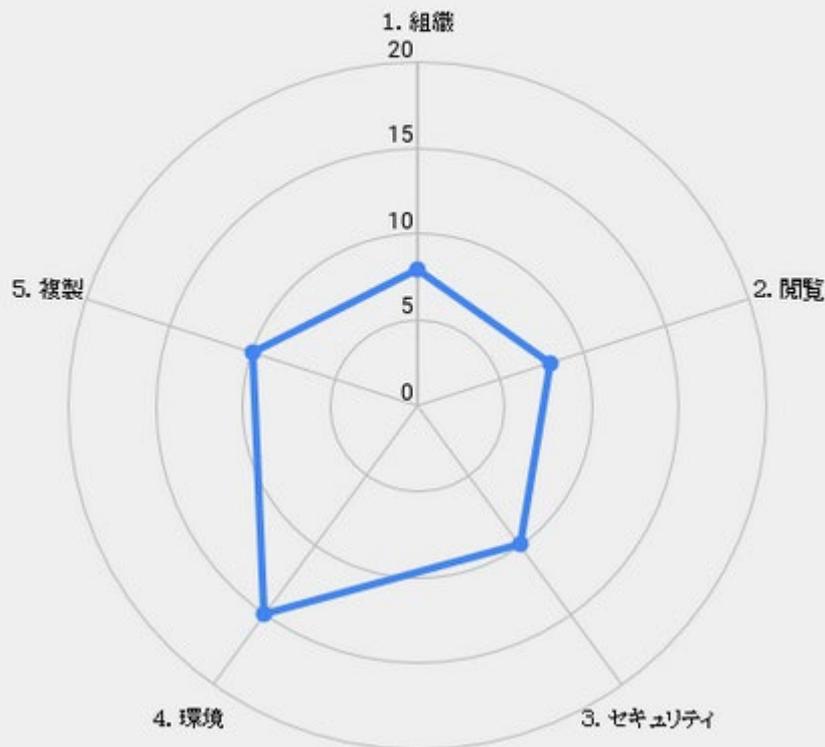
質問項目は以下を参考にしています：

- 『IFLA図書館資料の予防的保存対策の原則』  
<https://www.ifla.org/files/assets/pac/ipi/ipi1-ja.pdf>
- Benchmarks in Collections Care for Museums Archives and Libraries : A Self-assessment Checklist (Benchmarks in Collection Care 2.1)  
<https://collectionstrust.org.uk/wp-content/uploads/2016/09/Benchmarks-in-Collections-Care-2.1-1.pdf>
- 『情報と保存の活用のためのJHKダイレクトリ 2018年版』  
<http://www.e-jhk.com/> に無料配布の申込フォームあり

# 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

## 2. レーダーチャート

グループ別評点



一橋大学附属図書館の場合

貴重書所蔵点数(概数)

西洋 1~100点

東洋 不明

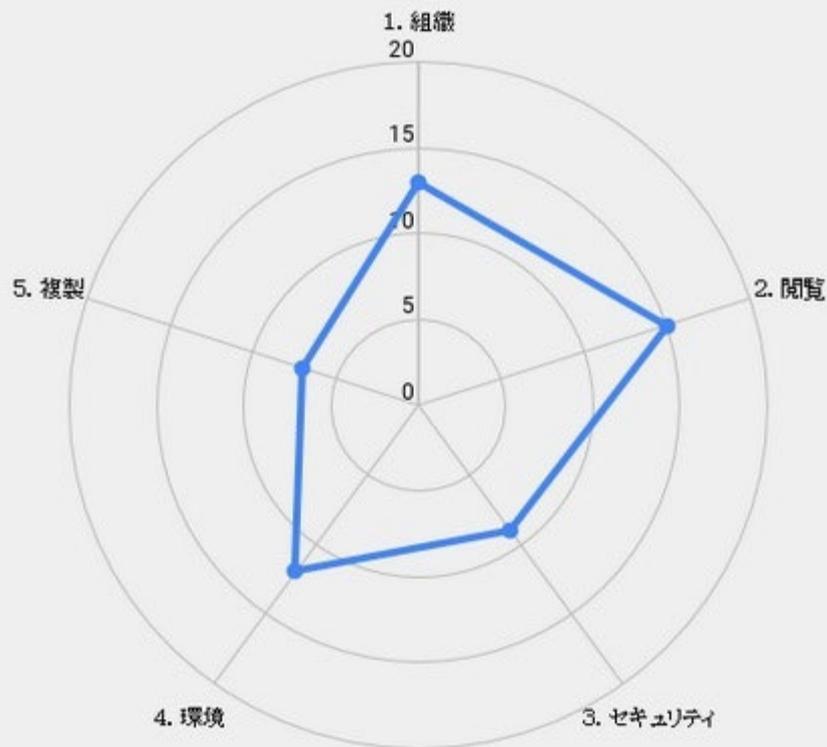
## 3. グループ別評点

グループ	評点
1. 組織	8
2. 閲覧	8
3. セキュリティ	10
4. 環境	15
5. 複製	10
総合点	51

# 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

## 2. レーダーチャート

グループ別評点



## 一橋大学社会科学古典資料センターの場合

貴重書所蔵点数(概数)

西洋 50,001~100,000点

東洋 所蔵なし

## 3. グループ別評点

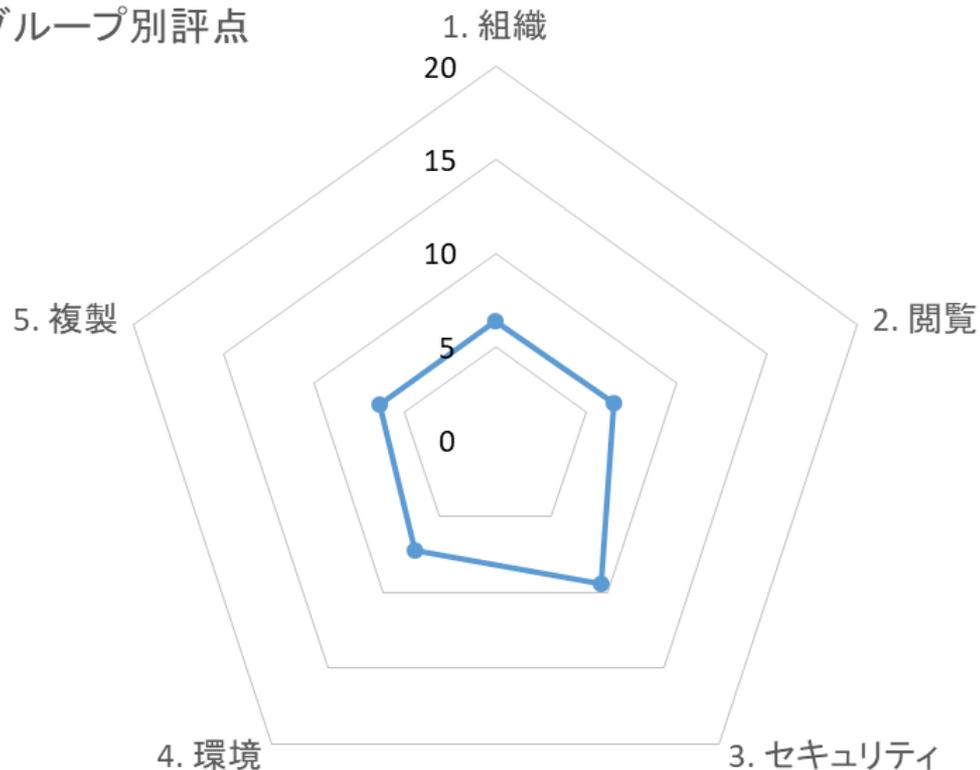
グループ	評点
1. 組織	13
2. 閲覧	15
3. セキュリティ	9
4. 環境	12
5. 複製	7
総合点	56

# 西洋古典資料保存に関する全国調査

- インデックスを使用した「西洋古典資料保存に関する全国調査」を2019年4～5月に国公立各大学へ依頼
- 集計、分析結果  
馬場幸栄「西洋貴重書保存インデックス」による西洋貴重書保存管理の指標と評価」『一橋大学社会科学古典資料センター年報』40(2020.3)  
<https://doi.org/10.15057/31141>

# 西洋古典資料保存に関する全国調査

グループ別評点



回答総数 115大学138館室  
うち和洋とも貴重書所蔵なし  
16大学17館室を除いた  
103大学**121館室**の評点の  
平均

グループ	評点(平均)
1. 組織	6.41
2. 閲覧	6.55
3. セキュリティ	9.45
4. 環境	7.23
5. 複製	6.39
総合点	36.02

# 貴重資料の適切な保存はますます重要に

## デジタルアーカイブの推進・拡充

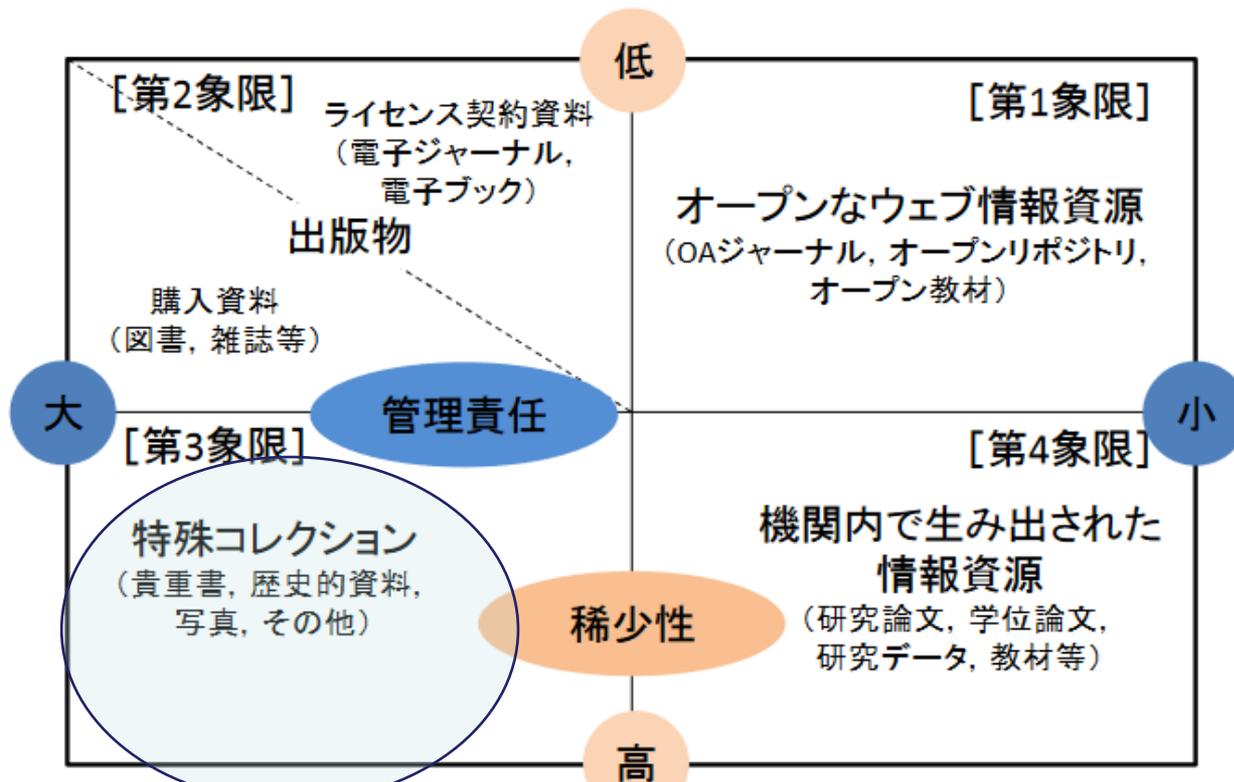
- ・ 国立大学図書館協会ビジョン2025
- ・ ビジョン2021-2025: 国立国会図書館のデジタルシフト 等

## デジタルアーカイブを提供するプラットフォームの登場

- ・ JAPAN SEARCH
- ・ JSTOR Shared Collections 等

→ 貴重資料所蔵のみえる化が進むとオリジナル利用の需要も高まる

# コレクション・グリッド



各資料群に対して、大学図書館が行うべきこと

○特殊コレクション

【図6】 これからの大学図書館がサービス対象とするリソースの全体像

包括的／選択的アクセスの提供, 利用のための電子化,  
オリジナル形態での永続的保存

本日の  
西洋古典資料保存講習会は、  
全国ネットワークへの  
記念すべき第4歩目です。

ご参加ありがとうございます！  
皆さんもネットワークの一員です。  
一緒に保存に取り組んでいきましょう。